

Rotary



世界に希望を生み出そう

2023-2024年度

# 釧路ベイロータリークラブ会報

会長方針「広めようロータリーの輪」

2023-2024年度 第23回(通算第1213回)

プログラム『地域について語ろう例会』(担当)

■日時:令和6年3月19日(火)19時00分～ ■例会場:ANAクラウンプラザホテル

【会長】千葉 潔 【副会長】伊藤 広樹 【幹事】横山 豊 【副幹事】後藤 義信

■ 点 鐘 千葉 潔 会長

■ ローターソング『我等の生業』  
ソングリーダー 貝嶋 政治君



■ 会長挨拶 千葉 潔会長



皆様こんばんは。会長の千葉です。

3月16日 この度のホストクラブであります、釧路北ロータリークラブ様主催の第7分区インターシティミーティングが行われ、ベイロータリークラブより9名の皆様が出席致しました。ご出席頂きました皆様、長時間にわたり大変お疲れ様でした。プログラムの内容は、足立 PDG による「ロータリーが目指す地域の青少年育成」題して講演して頂きました。また、佐渡ガバナー補佐による現役高校生とのパネルディスカッションが行われ、今の高校生達が何を考え、何を希望しているのか、と言う事がわかり大変勉強になりました。この度参加して頂いた高校生達にはロータリークラブが地域に対してどのような活動をしているのか、どのような団体であるのか・・・などを理解して頂けたのではないかと思います。しかし、この様に理解している若者たちはごく一部で、例えば奉仕

活動に参加する事があっても、それがロータリーの事業であるとは知らずに参加していたと言うケースが多々あるのも事実です。ベイロータリークラブも会員皆様と共により一層積極的に若い人達とか関わり合い、ロータリーの認知度を高め、青少年への奉仕活動を続けなければならないと思います。よろしくお願い致します。

■ 幹事報告

横山 豊幹事



幹事より4点報告いたします。

- マイロータリーのアカウントを作成する方法が未作成者に合同事務所より届いております。パーソナルボックスに入れておきますので、どうぞよろしくお願い致します。
- 帯広東ロータリークラブ創立 40 周年記念式典・祝賀会のご案内が届いております。

日時令和 6 年 6 月 15 日(土)

午後 3 時開場 午後 3 時 30 分～創立 40 周年記念式典 十勝プラザ大集会室 午後 4 時 30 分～記念講演 午後 6 時 30 分より～祝賀会 ホテル日航ノースランド

- 文書をパーソナルボックスの上に置いておきますのでご覧になってください。
- 3. 2023～2024 年度 ガバナーノミニ・デジグネートについての文書がガバナー事務所より届いております。

- 1. 2026～2027 年度ガバナー予定者 山本 倫生(やまもと みちお) 所属クラブ 旭川ロータリークラブ 詳細は文書をパーソナルボックスの上に置いておきますのでご覧になってください。
- 4. ハイライトよねやまが届いております。パーソナルボックスの上に置いておきますのでご覧になってください。
- 委員会報告 2500地区 RLI 委員会 森 圭一郎君



2500地区 RLI 委員会の森です。3月10日(日)に RLI パートⅢが開催され、今年度の RLI はパートⅠからパートⅢまでの全てのカリキュラムを終了しました。当クラブからは後藤副幹事が全て終了をしております。今後は6月1日(土)に帯広の地にて卒後コースを開催予定です。次年度も引き続き RLI は開催されますので、受講希望の方は私までお願いします。

- 各種記念日の紹介(親睦活動委員会)



【入会記念日】

該当者はありません。

【誕生祝】

該当者はありません。

【結婚祝】

該当者はありません。

☆ 本日のニコニコ献金

【小平会員宜しくお願いします。】

千葉潔君、横山豊君、後藤義信君、倉茂義衛君、大越拓也君、伊藤広樹君、植原元晴君、漆崎隆君

【小平君がんばって】遠藤若枝君、貝嶋政治君

【愛しのこっぴー頑張って】森圭一郎君、

【よろしくお願いします】小平優之君

☆本日のニコニコ献金 ￥24,000円

・皆さん、ありがとうございました。

・本日の例会

「地域について語ろう例会」担当：人間尊重・

地域発展・環境保全委員会

【理事委員長：小平優之君】

石川啄木は、岩手県南岩手郡日戸村、現在の盛岡市日戸出身の歌人、詩人。1886年2月20日誕生。啄木は雅号で、本名は一(はじめ)。詩人、歌人として秀でた才能を発揮しつつ、1912年4月13日26歳2カ月の短い生涯を終えました。少年時代の啄木は「神童」と呼ばれており、渋民尋常小学校は首席で卒業、盛岡高等小学校でもかなり上位の成績を修めていたといえます。12歳のころ、啄木は盛岡尋常中学校に128人中10番目の成績で入学します。中学時代に4歳年上の金田一京助と親しくなり、金田一が文芸誌『明星』を勧めたことで、啄木は与謝野晶子らの短歌の世界にどっぷりハマリ、いつしか文学の道を夢見るようになるのです。このようにして文学へと傾倒し、勉強はてんでおろそかになってしまった啄木は、成績は

一気に下がっていき、4年生のときにはなんと二度のカンニングが見つかり、退学処分を食らってしまいます。啄木はこの退学を機に、俺は文学で生きていくと上京の決意を新たにするのでした。こうして16歳のころに上京した啄木は、愛読誌『明星』を出版する新詩社を訪ね、与謝野鉄幹・晶子夫妻との関係を築きます。しかし、そこは勢い任せの上京。就職活動はうまくいかず、家賃を滞納し下宿を追い出され、半年もたたず帰郷することになります。盛岡への帰郷後は、新詩社同人として『明星』への寄稿をはじめています。

このとき掲載された「愁調」という五編の歌は、歌人・石川啄木が世間に注目された最初の作品で、「啄木」という筆名も、このころから使い始めたもの。詩集刊行のため再度上京した啄木は、盛岡高等小学校時代の小田島兄弟の協力のもと、初の詩集『あこがれ』を刊行。詩人としての活動が波に乗ってきたこのころ、中学時代からの恋人・堀合節子と19歳で結婚。20歳から1年ほど、渋民尋常小学校の代用教員を務めています。ただこの就職は望むものではなかったようで、啄木は次第に北海道で新しい運命をかけてみようと思うのでした。北海道では首着社(ぼくしゅくしゃ)や、歌人の宮崎郁(いく)雨(う)らの引き立てもあり・商工会議所臨時雇い・尋常小学校の代用教員・『函館日日(にちにち)新聞』・『小樽日報』・『釧路新聞』(現在の北海道新聞社)など、さまざまな職場を転々とします。特に記者としては一時、編集長を任されるほどの活躍ぶりだったといいますが、文章力の高さにかまけ遅刻や無断欠勤がかさむなど、勤務態度はよくなかったとのこと。しかもこれだけちゃんとした職に就いているにも関わらず、家族への仕送りは一切

なく、妻・節子は自身の家財を売って家計を支えていたといいます。22歳、どうしても文学への夢を捨てきれない啄木は、郁雨に家族を預けると旧友の金田一京助を頼って再び上京。上京した啄木が次はどんな活動をしていたかという、小説の分野に手を出そうとしていたのですが、計6作品を執筆するも、いずれも売り込みに失敗。作家・森鷗外の引き立てで「病院の窓」という1作だけは出版社との契約にこぎつけていますが、どうやら啄木に小説の才能はなかったようです。このあと、鷗外や与謝野鉄幹・晶子らのサポートを得て、文芸誌『スバル』を創刊すると、これを履歴書代わりに、東京朝日新聞の校正係に就職します。この時期に出版社・東雲堂との契約も取り付け、翌年24歳のころには、代表作『一握の砂』を発表しています。ともかく、啄木には新聞社や詩集の収入があるといっても、一家を養っていくほどの儲けにはならなかったようで、この時期の生活は困窮

します。啄木は計63人の友人から借金しており、その総額は1372円50銭(現代の価値で1400万円ほど)に上るとのこと。この時期を象徴するような短歌はたらけどはたらけど猶(なお)わが生活(くらし)楽にならざり ちつと手を見る啄木は25歳のころ、腹膜炎を患い入院。後を追うかのごとく、妻・節子は肺尖カタル、母・カツは腸カタルに侵されます。カタルというのは粘膜の炎症のことで、主には感染症などから引き起こされる症状。最期は自宅療養に戻っていた啄木ですが、肺結核のため妻、父、若山牧水らに看取られ、26歳没。貧困のため医者にも診てもらえず、薬も買えないような状況だったとのこと。平成5年6月、旧釧路新聞社社屋を復元しました「港文館」の1階には喫茶室や談話室があります。2階は、釧路新聞社の記者だった石川啄木に関する資料などが展示されております。

釧路ベイロータリークラブ 出席委員会 出席のり委員会 後藤委員長



在籍会員数	20名	賜暇 / 免除	欠席 / メイクアップ	出席率
今週の出席率	20名	名 / 1名	6名 / 名	70.0%
日修正出席率	名	名 / 名	名 / 名	%

会報・雑誌・IT委員長 森 圭一郎 : fujitokenkogyo@purple.plala.or.jp

クラブ事務所

副委員長 後藤 義信 : yoshinob510@outlook.com

釧路市幸町14丁目1-1 ノースサイド2階

委員 伊藤 広樹 : landito@peace.ocn.ne.jp

TEL : (0154) 23-6175 FAX : (0154)23-6213

委員 植原 元晴 : ueharaoto@jeans.ocn.ne.jp